

# 病害虫発生予察特殊報 第1号

病 名 ホウレンソウベと病(新レース)

病原菌名 *Peronospora effusa* (Greville) Cesati

## 1 発生経過

平成 14 年 5 月、東信地区の露地ほうれんそう栽培ほ場で、べと病と考えられる障害が多発した。病徴および病原菌の形態的特徴から、本病原菌は *Peronospora effusa* と同定され、ホウレンソウベと病であることが確認された。しかし、発生が確認された品種は、「サンピア」、「アールフォー」で両品種ともレース 1～4 に対して抵抗性を有することから、福井県、宮城県、群馬県、徳島県、広島県で発生報告のあった新レースであることが疑われたため、野菜花き試験場佐久支場でレース検定を実施したところ、新レースであることが判明した。

## 2 病徴と診断、発生生態

病徴は従来のホウレンソウベと病と変わらず、診断は容易である。葉の表は葉脈に囲まれた不整形の黄色病斑を呈し、葉裏の病斑部分には灰色でピロード状の病原菌の菌そうが確認できる。

主要な発生時期は、施設では 1～4 月の冬春ほうれんそうで発生するが、本県で確認された露地栽培ではべと病の主要発生時期である 5～6 月に発生する。秋季栽培時期には栽培品種が替わり、同一ほ場で発生していたべと病菌は新レースではなかった。

## 3 防除対策

- (1) レース 1～4 抵抗性品種を栽培している地域では、新レースによる発病に注意し、発生を認めたら薬剤による防除を徹底する。
- (2) 発病の恐れのある時期に作付けする場合は、予防散布を実施する。
- (3) 密植を避け、発病葉はできるだけ除去するとともに、発病残さはほ場内に放置せず、適正に処分する等耕種的防除を実施する。

## ホウレンソウベと病(新レース)写真

(写真:長野県病害虫防除所撮影)

本病は *Peronospora effusa*(Greville)Cesati による病気で、以下のような病徴を示す。

写真 1 : ほ場の発生の様子



写真2: 初期病徴



写真3: 葉の病斑と標徴

